

頑張れ!
ルーキー

rookie FIGHT!!



いまぶく 今福大川愛護会 大川のボランティア清掃

大川は今福町の宝。 子どもたちのためにもみんなで守っていきます。

7月25日日曜日。長かった今年の梅雨がようやく明けて、本格的な夏がやってきた頃、ここ松浦市今福町の中心を流れる大川の河原には、地元の皆さんが自前の草刈機やほうきを手に、ぞくぞくと集まってきました。今福と書いて「いまぶく」と読みます。すぐ隣は佐賀県伊万里市。港からは鷹島へ向かうフェリーが行き来しています。河原をまたぐ目の前の鉄橋を、ときどき1両編成の松浦鉄道の車両が走り抜けていきます。

今日は大川の清掃日。午前8時にもかかわらず容赦なく照りつける太陽の下で、今福中学校の野球部の生徒さんたちや、PTA、婦人会、老人会など、多くの町の方たちが手分して、手際よく草刈りやごみの収集を行っています。

「今福大川愛護会としては平成15年からこの清掃活動をしています。全体的には年に3回と、部分的にあと数回行っています。今日は学校の行事と重なって人数がちょっと少ないですが、毎回子どもたちといっしょに100名以上の方たちで草刈りと清掃をやっているんですよ。この大川では、5月にはたくさんの鯉のぼりを揚げたり、お盆には精霊流しをやったりします。普段でも散歩やジョギングのコースとし

て利用されていて、町にはなくてはならない川ですね。そんな自分たちの大切な川を自分たちで守ろうとして作ったのが今福大川愛護会です」と愛護会長の桑原英則さん。子どもからお年寄りまで、お互いに

声を掛け合いながら、清掃活動はどんどん進んでいきます。雑草が生い茂っていた河原も、みんなの力であっという間にすっきりときれいになりました。

小学生のときから参加しているという今福中学校3年生の田中晃くに聞きました。「夏の清掃は暑くてきついですけど、みんな

で協力してやるので頑張ろうと思います。清掃が終わって自分たちの川がきれいになっているのを見ると、とても気持ちがいいです。高校生になっても大好きな野球と、この清掃活動は続けていきたいと思っています」。

自然に恵まれた美しいまち今福。この美しいふる里も、こうした地元の皆さんの地道な努力によって守られています。



今福大川愛護会長 桑原英則さん



今福中学3年 田中晃くん

